

まていな復興計画推進委員会が 開かれました

「いいたてまていな復興計画」を具体的に推進するため、村民代表と有識者らを委員に話し合いを進めてきた同委員会。その5回目から7回目にあたる大詰め会議が飯野出張所で開かれ、村民の生活支援と村の復興について引き続き議論が深められました。

また復興計画中の「新まていな村」については、都市計画の専門家らを招いて、構想を練り意見交換を続けました。6月30日には委員会の答申も提出され、それをたたき台にさらに検討を重ねて「まていな復興計画第2版」がまとめられます。

会議の中で村民代表の1人は「飯館には今まで失望しなかった。これを機に希望に変わってほしい」と感想を述べていました。



▲1人1人の意見を重ね
合わせて「新まていな村」
の構想は練られました

主なできごとと村の動き(5月22日～6月30日)

5月

- 22日・飯館村民の避難生活実態及び帰村意向等に関するアンケート発送
- 23日・村議会第13回復興対策特別委員会(飯野出張所)
- 30日・蕨平行政区の陳情書に対する回答(飯野出張所)

6月

- 1日・第5回まていな復興計画推進委員会(飯野出張所)
- ・第1回リスクコミュニケーション委員会(飯野出張所)
- ・飯館村民の避難生活実態及び帰村意向等に関するアンケート回答締切
- 2日・全国煙火競演会招待(伊達市梁川町)
- 5日・長泥行政区の要望書に対する回答(飯野出張所)
- 6日・前田・八和木行政区の要望書に対する回答(飯野出張所)
- 7日・村議会第14回復興対策特別委員会(飯野出張所)
- 11日・避難区域見直しの方針を国に提出(飯野出張所)
- 11日・草野地域の一部及び事業所等の除染実施(草野行政区)
- 14日・21日・村議会6月定例会(飯野出張所)
- 15日・避難区域見直しの決定通知を国が村に提出(飯野出張所)
- 17日・第6回まていな復興計画推進委員会(飯野出張所)
- ・子どもの遊びと心の相談会(飯野学習センター)
- ・松戸市「きれいのタネ」映画上映会参加(千葉県松戸市)
- 22日・丸の内行幸マルシェ×青空市場参加(東京都千代田区)
- 24日・第2回「未来への翼」報告会(飯野出張所)
- 25日・比曽行政区の住民懇談会(飯野出張所)
- 27日・中山間地域等直接支払推進協議会代表者会議・役員会(飯野出張所)
- 28日・第1回飯館村まていな除染会議(飯野出張所)
- 29日・飯館村行政区長会議(飯野出張所)
- 30日・第7回まていな復興計画推進委員会・答申提出(飯野出張所)

ふるさとに思いを馳せて ー特別講義始まる

相馬農業高校飯館校の2年生が「地域を知る」をテーマに福島大学の先生方から講義を受けることになりました。この日は、講師を務めた境野健児特任教授から「ふるさとの良いところを、メモ1枚に1つずつ書いて挙げてください」と投げかけられ、生徒たちは村での生活を思い出しながらメモを何枚も使って「良いところ」を書き出しました。「水がおいしい」「野菜がおいしい」「村の人は親切」「気持が落ち着く」「静かなところもいい」など、メモは黒板いっぱい貼られました。



▲黒板前で友達のリポートと見比べながら



▲「たくさん教えてよ」と親しく
言葉をかける境野先生

任天堂からWiiが届きました

ゲーム機メーカー任天堂からWii18台が寄贈され、「いやしの宿いいたて」や各自治会に順次設置が行われています。この日は旧松川小応急仮設住宅に任天堂から社員2人が訪れ、Wii本体やリモコン、ソフトなどを自治会に贈呈。住民は早速Wiiを使って、試験的に導入されたカラオケを楽しみました。三船和子の「だんな様」を歌った佐藤シノブさん(前田)は「一昨年のお盆に行政区でやって以来のカラオケ。この歌が好きだったの。気分がよかった」と、また山田トシ子さん(伊丹沢)は「歌えるのは楽しい。歌っていると嫌なことも忘れてしまう」と話していました。



▲カラオケは久しぶりという佐藤シノブさん



テレビ画面を
見ながらリモコンで
操作します